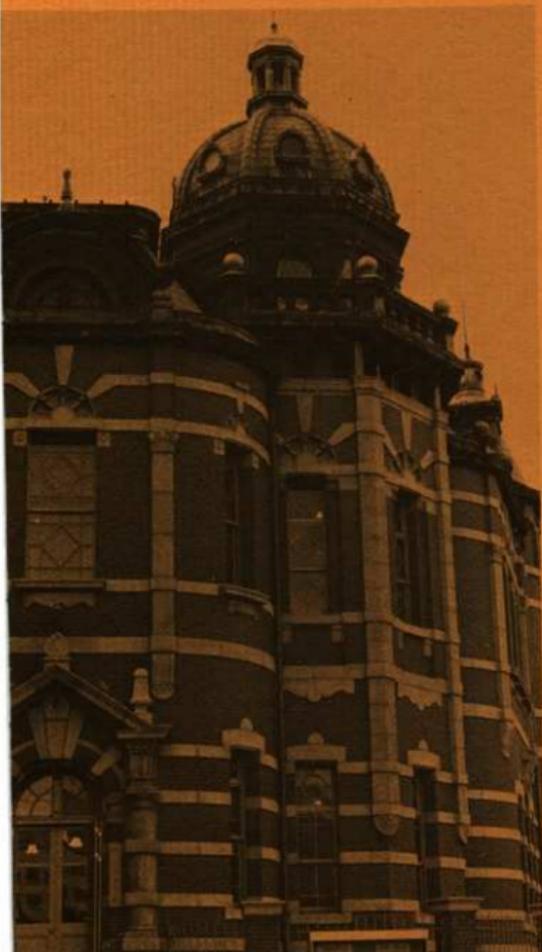


福岡市立歴史資料館

年報

NO.3 (昭和49年度)



昭和50年刊

あ　い　さ　つ

このたび福岡市立歴史資料館から、年報第3号を刊行することになりました。本年報は49年度における展示活動をはじめ各種の業務や諸般の活動の歩みを記録するものであります。今後の運営の指針あるいは反省の材料ともなる性格をも、併せもっております。

3年目をむかえます当館も、牛歩の歩みながら少しお進展があるよう、本年報を一読して感ぜられますが、これもひとえに、市民各位をはじめ研究者各位の、御指導御援助の賜物と常日頃深く感謝いたしております。今後とも倍旧の御協力と御鞭撻をお願い申し上げます。

昭和50年8月1日

教育長 古 村 澄 一

福岡市立歴史資料館の発足以来、約3か年の日子をむかえようとしております。今回の年報第3号は第2号にひきつづき、49年度における各種の館運営業務の経過を記録したもので、当館の研究報告書・収蔵品図録などとともに、併せて研究施設の重要な刊行物であります。

昨年も申し上げたことですが、歴史の浅い小規模な当館の歩みも、市民のみなさまをはじめ研究者各位の温かい御指導によることが多く、常々感謝致しておりますが、今後も個性豊かな資料館となす所存ですので、さらにもましての御指導御援助をお願い申し上げます。

昭和50年8月1日

館 長 三 島 格

目 次

49年度業務概要	1
施設管理業務の概要	2
資料館の活動	5
1. 展覧活動	5
2. 収集資料の紹介	7
3. 普及活動	9
福岡市立歴史資料館協議会	10
昭和49年度予算一覧	11
入館者の動向	12
昭和49年度購入図書	13
昭和49年度受贈交換図書	14
福岡市立歴史資料館条例	16
福岡市立歴史資料館条例施行規則	17
施設と規模	18
面積表	19
機構と職員の構成	20

49年度業務概要

事業概要

常設展 関係資料の入れ替え・補充（6室）

企画展 1 重要文化財東光院仏像展 3月16日—5月1日 入場者7288人

2 県無形文化財博多祇園山笠展 7月2日—16日

3 元寇七百年展 10月10日—11月10日 入場者8323人（いづれも別項参照）

調査研究 1 野村望東尼関係資料の仮目録作製に伴う予備調査

2 二川相近遺跡遺稿目録作製の予備調査

3 展示基調資料の調査—熊本・島原・北九州・佐賀・大分地方

4 今津湾周辺弥生遺跡の研究（継続）

普及活動 資料の作製および刊行

1 「山崎文書目録」資料館研究報告書第2集

2 資料館「年報」第2号（48.4—49.3）

3 「収蔵品図録」但し収納函のみ

4 「金印聚」の作製

5 各企画展の目録作製

資料購入 表示のごとき考古・書跡資料を購入した。

番号	種別	名 称	数量	摘要
1	考古資料	繩文式土器	2	長崎県各遺跡出土 別項参照（以下同）
2	〃	繩文時代石器	12	全土遺跡出土
3	〃	弥生式式塙用土器	1	長崎県三軒屋貝塚出土
4	〃	経 筒	1	市内西区西油山出土
5	書 跡	繪図（元禄12年）	2	那珂郡の山川・海岸などの形相図
6	〃	什 器 目 錄 （伝立花実山）	1	茶道史研究資料
7	考古資料	鋼 戈	1	先秦時代の参考資料
8	〃	鋼 戈 鋳 型	1	市内東区八田附近出土
9	〃	瓦 経	16	市内西区姪浜愛宕山出土

資料復元 繩文式深鉢形土器4点・陶質碗形土器3点を復元補強した。

複製品製作 下記の複製品を製作した。

1 木器—石斧柄・刀子柄・鐵斧柄・盆

2 石製品—銅戈鋳型・曲玉鋳型

3 骨製品—鹿骨簪

4 ガラス製品—曲玉

模 型 製 作 1 弥生時代中・後期の墳墓（宝満尾遺跡）

2 弥生時代中期の竪穴住居（宝台遺跡）

3 石庖丁使用状況

スライド製作 1 マルチスクリーンディスプレイ装置用（福岡の地形と古代遺跡・板付遺跡

・宝満尾遺跡・相原古墳群・筑前万葉歌碑めぐり

2 資料館広報用として「赤レンガの歴史資料館—博多・福岡のあしあと」

1巻。

日 誌 抄

49. 5. 28 黒田家・文化庁などの許可を得て複製した金印を、2階3号室に展示。

50. 1. 28 防火・救助訓練を中央消防署の指導により実施。自衛消防団大いに活躍。

2. 4 いつともるガス灯（毎日・10. 19）市民おなじみのガス灯やっと点火。オイルショック以来4ヶ月ぶり。

施設管理業務の概要

1. 施設・設備の整備

(1) 指 定

49. 9. 21 ●博物館法第29条に基づく「博物館相当施設」の指定を受く。

(2) 加 工

49. 12. 7 ●展示室カーテン防災 178m² 木原工業㈱

(3) 修 理

49. 6. 30 ●紙本著色博多山笠屏風補修 6曲半双 合屋翠雲堂

7. 2 ●ガス湯沸器点検調整補修 1台 細山熱器㈱福岡営業所

8. 28 ●照明器具、電気配線補修 1式 鮎島田電気商会

11. 4 ●展示室壁クロス張り替え補修 木原工業㈱

11. 12 ●ガス湯沸器給水管架設補修 1式 細山熱器㈱福岡営業所

11. 30 ●重要文化財旧日本生命保険株式会社九州支店修理記銅板補修 1式 (付) 夢奈加看板

12. 26 ●ベンキ塗装替え 148m², タイル張替え 1.5m², 換気筒モルタル塗装替え 1式, 溝折1式, バリカー1式補修 韓板谷建設

50. 2. 28 ●湿式複写機分解補修 1式 大西商事㈱

3. 8 ●マルチスクリーンディスプレイ装置用スライドプロジェクター分解補修 5台 鮎エルモ社九州営業所

3. 12 ●煙感知器、配線補修 1式 日本信号㈱九州営業所

3. 18 ●照明器具、電気配線補修 1式 糸島田電気商会

3. 20 ●写真撮影用ストロボ分解補修 1台 中原カメラ

(4) 備品

49. 4. 5 ●寄贈、交換図書用書庫（ガラス戸付）1台

6. 28 ●館長室応接台用テーブルセンター（30cm×75）1枚

7. 15 ●図書資料室用壁掛け型クーラー（三菱S R K-187J）

10. 8 ●受付用預品保管庫 1台

12. 24 FC印画乾燥機（4切P D-S型 575mm×365×420）

50. 2. 18 ●学芸資料用書庫 1台

2. 18 ●学芸什器用キャビネット 1台

2. 21 ●写真用レンズ（ニコン マイクロニッコールPオート 55mmF 3.5, M₂リ
ング付） 1個

2. 21 ●ストップウォッチ（スイス製エキセルショアバーク） 1個

2. 21 ●拡大鏡 1個

(5) 借上

49. 4. 1～●洋物植木鉢（玄関ロビー、展示室、階段室、館長室、事務室） 延 192鉢

50. 3. 31 鮎中村園芸場

49. 7. 1～ ●資料収集用自動車 延 204台 西ビルタクシー鯖

50. 3. 31

2. 施設運営業務の委託

49. 4. 1～ ●東光院仏像展特別夜間警備業務 鮎シンコー

4. 30

49. 4. 1～●受付応接業務 ●展示室警視業務 ●空調、冷、暖房機操作等保守業務

50. 3. 31 ●清掃業務 ●夜間警備業務 鮎シンコー

3. 設備保守点検業務の委託

49. 4. 1～ ●自家用電気工作物設備 財団法人九州電気保安協会

50. 3. 31

49. 4. 1～ ●構内電話交換および付属設備 富士通㈱九州通信営業所

50. 3. 31

49. 4. 1～ ●自動火災報知設備 日本信号㈱九州営業所

50. 3. 31

49. 4. 1～ ●収蔵庫空気調和設備 九州新菱冷熱㈱

50. 3. 31

49. 4. 1～
●冷房設備 九州日立冷機㈱
50. 3. 31

49. 11. 1～
●暖房設備 倉巴商会福岡営業所
50. 3. 31

4. 施設職員の研修

名 称	期 日	会 場	参 加 者
九州博物館協議会総会	49. 5. 16～17	九州歴史資料館ほか	三島、橋崎、下條
日本博物館協会第7回 学芸職員(歴史部門)研修会	6. 11～13	宮崎県総合博物館	下條
防火管理者資格講習会	6. 13～14	農協会館	橋崎
上級管理者研修	7. 3	福岡ビル	三島
日本博物館協会第4回庶務主任者研修会	8. 6～7	野口英世記念会館	橋崎
九州博物館協議会学芸、事務職員研修会	10. 15～16	長崎県立美術博物館	下條、橋崎
危険物取扱講習会	10. 27	消防局	西村
"	11. 10	福岡大学	西村
監督者研修	11. 25～29	市職員研修所	石橋
学芸員講習会	12. 6～19	国立社会教育研修所	下條
防火教育講習会	50. 1. 7	市立歴史資料館	全職員
接遇指導者養成研修	1. 20～24	市職員研修所	石橋
2級ボイラー技師受験講習会	3. 18～20	商工会議所	西村

5. 消防総合訓練

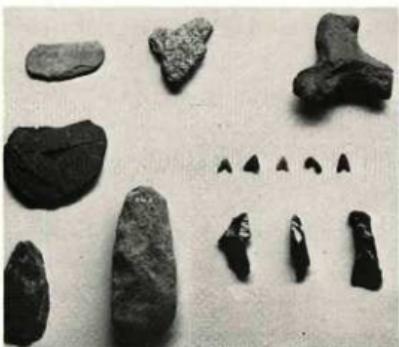
当該施設は、国指定の重要文化財（昭和44年3月12日 文部省告示第36号）であるから、特に、防災態勢には万全を期している。

50. 1. 28 ●歴史資料館自衛消防隊、消防局天神分署、工作救助隊の合同による火災発生通報、消火、避難（入館者誘導、重要資料搬出）、救出の総合訓練実施

○ 資料館の活動

(1) 展覧活動

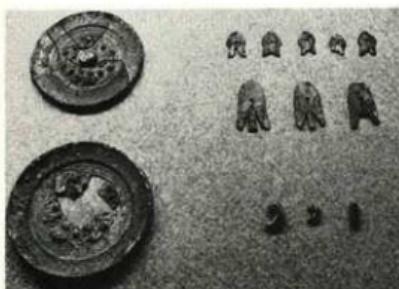
常設展示の紹介



縄文時代石器類（山崎純男氏出品）



弥生式土器（山崎純男氏出品）



五島山古墳出土
鏡、銅鏡、玉類（中村ナミ氏出品）

福岡市やその周辺から出土した考古遺物を主に使って、古代から中世までの海外文化交流と郷土史を展示。

第1展示室 この室には先土器・繩文・弥生時代の一部を展示している。先土器時代は、福岡市蒲田、諸岡、朝倉地方の細石器を中心に、繩文時代は市内の元岡、飛櫛貝塚さらに熊本や宮崎県の資料を展示。釣針、岩偶、玉類、石斧、石鎌など。弥生時代は鏡、劍、矛、刀などの青銅器、鐵器にみる中国、朝鮮との交流を中心にして、それに初期稻作文化を物語る石磨丁、石斧、鎌、鋤（複製品）を配列している。中央には遺跡分布模型を置いている。

第2展示室 繩文-弥生時代の土器を編年によって配列し、土器の変遷や、弥生式土器の器種の分化などを留意して展示。市内出土品を主にしているが、一部熊本（繩文式土器）を出土品で補完。

第3展示室 弥生時代の代表的墓地である金隈、宮の前の両遺跡を模型にし、遺跡全体をみて共同の墓から権力者の墓への移りかわりがわかるようにした。また石斧の專業的製作場として名高い今山遺跡の未製石斧を製作工程順に並べ、それに出土分布図をつけている。金印、貝塚、玉飾品なども展示。

第4展示室 郷土の先学として、江戸時代以来の郷土の著名な歴史、地理、風俗、考古学者の業績をパネルで紹介。それらには、貝原益軒、亀井南冥、青柳種信、望東禪尼、中山平次郎等がある。

第5展示室 スライドスクリーンを5台並べ、スライドと音楽とアナウンスとで郷土の歴史を知る室で、年1回とりかえを行なう。49年度は板付遺跡、宝満尾遺跡、相原古墳群、筑前万葉歌碑を紹介している。

第6展示室 古墳時代から奈良、平安時代を経て中世の陶磁器を展示している。古墳時代は老司古墳の出土遺物（鏡、玉、土師器台、土師器盤）五島山古墳（二神二獸鏡、銅鏡）、丸限山古墳（鏡）、下山門遺跡（滑石模造品）の出土品を展示。太宰府と鴻臚館（奈良～平安時代）は古瓦と宋人の米泊を物語る刻銘ある硯などを配し、最後に日唐、日宋貿易の輸入品である中国の青白磁を陳列。

企画展

博多祇園山笠展

本館が所蔵する、初代三吉主清の筆になる「紙本著色博多山笠屏風図絵」（天明8年1788、寛政元年1789）6曲一双を中心に、博多山笠の研究資料として重要な、県指定文化財「博多津要録」（簡田神社蔵）・「松囃子山笠記録」（同）・「山笠記」（同）、山崎藤四郎著「松山遺事（三宅安太郎氏蔵）・三宅酒壺洞編「博多山笠年表」（同）・「山笠当番町附」（同）、落石栄吉著「博多祇園山笠史談」（博多祇園山笠振興会刊）等を6号室に展示した。

入館者には、博多祇園山笠の略解・山笠絵師三吉家の紹介・山笠掲題一覧表・展示の参考文献の解題を内容とする4ページの解説目録を無料頒布した。

会期は7月2日→16日（月曜休館）であり、市中は山笠氣分横溢の時にあたっていたので、多数の入館者があり、盛況裡に終始することができた。

元寇七百年展

開催年が文永の役からちょうど700年にあたるところから、学術資料による首題の企画展をおこなった。主な展示物は、蒙古の国書（写真）・蒙古襲来絵詞模本3種・異国警固番役置勘状7種・八幡大菩薩愚童訓・肥前国守護北条定宗書下し・熊野權現勅請案文・今津石塚地裏手出土の陶質土器等であった。

入観者には各種写真5枚を含む、元寇の概説・展示品解説・関係文献抄録・関係年表抄録等を収めた8ページの解説目録を無料頒布した。

本企画展は九州大学をはじめ、九州各県、市の教育委員会・公立博物館・同図書館・神社・個人所有者の幅広い協力により、高度にして充実したものとして、一般観覧者に与えた影響もさることながら、学者・教師・特殊研究家に与えた感銘が大きかった点において、きわめて有意義なものであった。



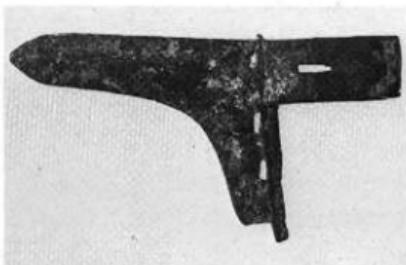
蒙古襲来絵詞(模本) 九州大学附属図書館出品

(2) 収集資料の紹介

a 購入資料

1 繩文式土器

長崎県南高来郡後遺跡出土。繩文時代後期深鉢形土器。高さ28.5cm・口径32cm。



2 石器

長崎県南高来郡後遺跡出土。十字形石器・石斧・円形石器・石錘・凹石など。

3 弥生式製塙用土器

長崎県南高来郡ロノ津町三軒屋貝塚出土。弥生時代後期と考えられる。九州では類例の少ない弥生時代製塙土器である。高さ18cm

4 経筒 1点

福岡市西区西油山出土品。蓋・脚台をもち銅製二段積み。無銘。

7 銅戈 ▲

出土地不詳。中国先秦時代の型式。長さ19.5cm。

8 銅戈鑄型 ▶

福岡市東区八田付近出土といわれる。中広形銅戈鑄型。先端部は若干欠失。砂岩製。長さ28cm・幅12cm・厚さ3cm。



5 古地図（元禄12年） 2帖

- (1)元禄十二年正月八日博多丸之辻ヨリ井相田村前迫日田往還形相 34×433cm。
- (2)卯七月十九日象石ノ峰ヨリ塩買ノ峰迫御境改直ス形相 34×583cm。



6 什器目録（伝立花実山）1冊

立花家の什器目録。筆者は立花実山とみられる。14葉。表紙・末紙を欠く。27×20cm。

◀ 9 瓦経 16点

福岡市西区姪浜愛宕山出土。〔参考文献〕石田茂作・高野孤鹿『筑前愛宕山瓦経の研究』1974号雄山閣

b 寄贈資料

1 野村望東尼関係資料

東京都の野村肇一氏から、2月28日に前回本館に寄贈うけたものの残部を、今回一括して350点追加寄贈されたもので、姫島からの書簡類・尼没後の関係各方面からの顕彰歌・教科書等であるが、前記書簡類は極めて重要なものである。



2 博多金判、銀判

柳田神社から遷座記念の模造品各1点の寄贈をうけた。これらの貨幣については津田元顯・元貴父子の著「石城志」・山崎藤四郎の著「石城遺文」等に見えていて、経済資料として有用である。

3 銅戈（福岡市西区西入部丸隈遺跡出土）

1963年7月発見。復元長40cmほどの中広銅戈である。茎に眉・眼・鼻の人面を浮彫りしてある。弥生時代後期とみられる。現長28.2cm・闊部現長11.3cm・身幅復元長5.2~6.5cm。

4 能古窯跡のカラー写真資料1点

5 福岡城多聞櫓スライド資料11点

c 複製資料

関係各位・各機関の協力を得て下記資料の複製品を作製した。

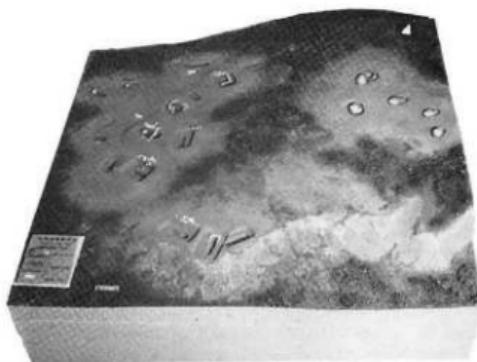
木製石斧柄（福岡市博多区板付出土） 木製刀子柄（福岡市西区下山門出土） 木製鉄斧柄・木製盆（福岡市西区鶴町出土） 銅鋒鉄型（福岡市博多区板付出土） 勾玉鉄型（福岡市南区赤永原出土） 鹿骨製簪（福岡県宗像郡玄海町鐘崎出土） ガラス製勾玉（春日市須玖出土）



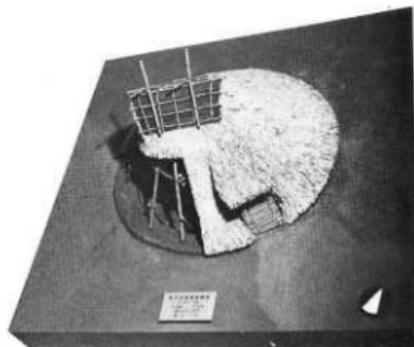
d 模型資料

下記の模型を作製した

- 1 福岡市博多区宝満尾遺跡 弥生時代中・後期墓地



- 2 福岡市西区宝台遺跡 弥生時代中期堅穴住復元模型



- 3 石庖丁使用状況復元模型

(3) 普及活動

○研究報告書II「山崎文書目録」

本館所蔵にかかる福岡市東区箱崎網屋立筋の山崎万里子氏寄贈の箱崎浦庄屋の文書 181点の目録であって、天正 4 年（1576）の「守護役田尻彈正」宛箱崎浦弁指の文書の寛文 9 年（1669）写を最古とし、水手役錢納・近隣浦々との漁場紛争など、幕末から明治期にかけての漁村の実態が知られる貴重資料を含んでいる。1974年 6月 25日刊。

○歴史資料館年報 No. 2 (昭和48年度)

B 5 版、18 ページ 9 月 30 日刊行

昭和48年度の資料館活動の報告

○国宝金印ブックしおり

表に金印カラー写真、裏に説明を記したしおり、10月より入館者に配付。

○赤レンガの歴史資料館

歴史資料館紹介のためのスライドと録音テープ。

福岡市立歴史資料館協議会

委員名簿（五十音順）

氏名	郵便番号	現住所	役職名
井上 忠	〒 814	福岡市西区西新1丁目12-8	福岡大学文学部教授
岡崎 收	〒 813	福岡市東区御幸町合同宿舎RC7-14	九州大学文学部教授
荒山 直	〒 816	福岡県春日市春日1533-28	九州歴史資料館長
川添 哲二	〒 811-23	福岡県柏原郡柏原町仲原新町	九州大学文学部助教授
兒島 敬三	〒 812	福岡市東区箱崎3丁目9番51号	福岡県立高等学校社会科研究会 歴史部会代表（修猷館高校教諭）
谷口 鉄雄	〒 818-01	福岡県筑紫都太宰府町白川1-27	九州大学文学部准教授
田村 圭澄	〒 811-32	福岡県宗像郡福間町東福間団地A358	九州大学文学部教授
筑紫 豊	〒 812	福岡市東区箱崎1丁目20番23号	福岡県文化財専門委員
平田 寛	〒 811-34	福岡県宗像郡宗像町日の里5丁目3の35	九州大学文学部助教授
平林 豊	〒 813	福岡市東区香住ヶ丘6丁目25	福岡市立中学校社会科研究会 歴史部長（大濠養護学校教諭）
藤井 功	〒 818-01	福岡県筑紫都太宰府町都府楼団地212	福岡県教育庁文化課課長
三宅 安太郎	〒 812	福岡市博多区大博町8-30	福岡県文化財専門委員
森 貞次郎	〒 812	福岡市東区若松2丁目29番25号	九州産業大学教養部教授
安河内 和好	〒 814	福岡市西区飯倉163	福岡市立小学校社会科研究会 代表（長尾小学校校長）
八尋 和泉	〒 812	福岡市東区箱崎6丁目12番15-520号	福岡県立九州歴史資料館 学芸一課技術主査

開催状況

49. 6. 26 ●昭和49年度事業実施計画、「福岡県指定無形文化財博多祇園山笠展」開催
計画、「元寇七百年展」開催企画について諮問、協議
8. 1 ●「元寇七百年展」開催計画、昭和50年度事業企画について諮問、協議
50. 2. 14 ●委員の任期満了に伴う全委員の再任委嘱について報告。委員長、副委員長
の選出、実物資料購入計画、実物資料鑑定評価委員の推薦について諮問、
協議
3. 28 ●昭和49年度実施事業の経過報告および昭和50年度事業、予算について説明、
協議

昭和49年度予算一覧

費 用 目		事 業 費
報 費	額	150,000 資料館協議会委員
質 金		855,000 複製品原図作成、資料複製、資料台帳整理作成、資料実測作業補助
報 償 費		418,000 資料複製、ハネル製作指導、資料寄贈謝礼。原稿、鑑定委員謝礼
旅 費	134,000 日本博物館大会 学芸員講習	363,000 資料寄贈高託交渉、複製品の検分 資料運搬、各地博物館調査
印刷消耗品費	396,000 P.R用しおり、一般事務用品 新聞雑誌、消毒用薬品	2,010,000 収蔵品図録、館報、ハンフレット、フィルム、D.P.E、研究報告書
光 熱 水 費	2,519,000 電気、ガス、水道、燃料	
食 糧 費	90,000 資料館協議会、来客用	40,000 複製品、ハネル製作指導会議用
修 繕 料	400,000 資料借用交換 展示ケースガラス、照明器具 借用資料等修理	
役 務 費	412,000 電話、郵便料 火災、対人、対物保険料	274,000 図録、館報送付、連絡用切手代、 筆耕翻訳料
委 託 料	8,615,000 空調保守、警備、受付、清掃、 電気、電話機、冷暖房保守	5,540,000 複製品、ハネル展示用具製作、 スライド製作
自動車借上料		300,000 展示・寄託・調査資料、購入資 料運搬用
借 損 料	155,000 資料館協議会会場借上料 被木借上料	350,000 展示資料借上、会議場借上
備 品 購 入 費	32,000 図書	2,850,000 展示資料の購入、資料室ターラー、 図書、図書ケース
負担金補助及び 交付 金		57,000 日本博物館協会負担金 九州博物館協議会負担金 九州博物館人会負担金
計	12,903,000	13,057,000 25,960,000

入館者の動向(昭和49. 4. 1 ~ 昭和50. 3. 31)

表1 入館者統計

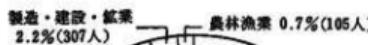
	個人入館者								団体入館者					総計			
	一般		学生														
	男	女	小	中	高	大	一般	小学校	中学校	高等学校	大学	一般	小学校	中学校			
49年4月	1,614	1,235	223	178	128	213	4	152	3	301	3	34	1	11	1	3,763	
	777	334	108	113	55	154	8	356	3	85	2	59	4	53	3	2,253	
	642	336	299	113	62	106	7	231	3	86	2	59	4	53	3	2,205	
	800	432	255	214	76	171	5	255	6	90	2	35	2	35	2	2,328	
	612	419	339	300	135	235	5	160	3	60	4	57	4	276	1	2,593	
	510	226	105	85	54	152	10	294	17	88	2	450	1	9	1	1,435	
	1,995	776	314	232	142	259	17	689	9	480	3	815	2	450	1	6,222	
	861	380	175	129	90	127	9	495	7	304	3	837	1	26	2	3,484	
	309	118	92	65	43	92	3	100	1	44	1	117	1	70	1	819	
	368	162	134	59	40	71	1	44	1	117	1	52	1	22	1	995	
	475	217	241	48	39	122	3	96	3	121	1	52	1	22	1	1,433	
	578	238	230	83	108	241	7	246	2	125	1	52	1	22	1	1,849	
総計	9,541	4,873	2,515	1,619	972	1,943	79	3,118	37	1,681	16	1,654	17	893	8	367	29,379

表2 年令別入館者数

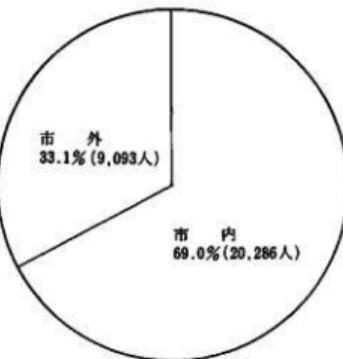
	~15	16~30	31~50	51~64	65~	総計
49年4月	431	974	1,217	671	470	3,763
	576	557	635	278	207	2,253
	688	648	547	232	90	2,205
	593	750	677	200	108	2,328
	788	1,027	561	120	97	2,593
	198	531	432	218	56	1,435
	1,889	1,801	1,422	788	322	6,222
	1,467	718	831	301	167	3,484
	161	290	264	78	26	819
	316	296	249	68	66	995
	465	398	399	125	46	1,433
	448	671	492	156	82	1,849
総計	8,020	8,661	7,726	3,235	1,737	29,379

表3 職業別入館者数

	農業	林業	製造業	建設業	販賣業	卸売業	小売業	サービス業	労働者	会員	無職	職業	総計
49年4月	28		53		1,539		1,229		355		355	1,111	2,849
	10		23		723		723		331		331	978	
	2		33		612		612		425		425	1,232	
	9		28		770		770		357		357	1,031	
	4		33		637		637		188		188	736	
	2		19		527		527		610		610	2,771	
	22		52		1,887		1,887		395		395	1,241	
	12		20		814		814		314		314	100	
	2		11		357		357		155		155	530	
	2		16		461		461		214		214	692	
	8		9		586		586		216		216	816	
	4		10										
総計		105		307		9,227		4,775		14,414			



第1図 職業別入館者



第2図 地域別入館者

昭和49年度購入図書

筑前名所図絵(解説付)	11巻	成川遺跡	1
日本の博物館総覧	1	日本史辞典	1
日本考古学選集1, 2, 21, 25	4	新羅史基礎研究	1
漢唐壁画	1	論集終末期古墳	1
故宮博物院藏工芸品選	1	研究史金印	1
韓國美術全集(全15巻)1, 5, 7, 10, 12巻	5	内蒙古長城地帯	1
筑前国統風土記拾遺(5巻)	5	奈良朝食生活の研究	1
長沙馬王堆一号墓上・下	2	古代玉作の研究	1
中国の地理概況	1	筑前平田窯跡	1
長沙芝墓帛画(8枚入り)	1	奈良朝服飾の研究	1
隋書1~6	6	日本考古学の現状と課題	1
絵馬	1	流水文銅鐸の研究	1
隼人と大和政権	1	日本考古学古代史論集	1
古代史発掘「最古の狩人たち」旧石器時代	1	東西交渉の考古学	1
古代史発掘「装飾古墳と文様」古墳時代	1	中国考古学論叢	1
古代国東文化の謎(宇佐神道と国東文化)	1	銅鐸(全)	1
日本古代家畜史の研究	1	奈良市史	1
和漢三才圖会上・下	2	市川市史	1
朝鮮古蹟調査報告	1	朝鮮鑑	1

日本年号	1	偉大的芸術伝統図録上	1
全上古三代秦漢三国六朝文	5	日本原始古代文化の研究	1

受贈交換図書雑誌（自昭和49年4月）
至昭和50年3月）

美濃輪台遺跡一（貝塚）A地点—	市立市川博物館	明治大学文学部研究報告考古学第1冊
市立旭川郷土博物館研究報告第10号	市立旭川郷土博物館	群馬県岩宿発見の石器文化 杉原莊介
昭和48年度市川市立博物館年報	市立市川博物館	明治大学文学部研究報告考古学第2冊
市立旭川郷土博物館月報49年9月号 10月号	市立旭川郷土博物館	神奈川県夏島における縄文文化初頭の貝塚 杉原莊介
青森県田子町 石龜遺跡第2、3次発掘調査概報	平安博物館	明治大学文学部研究報告考古学第3冊
邪馬台国時代の鳥根		長野県上ノ平の尖頭器石器文化 杉原莊介
鳥取県八雲立風土記の丘資料館		明治大学文学部研究報告考古学第3冊
日本の原始美術	神戸市立考古館	千葉県天神前における弥生時代中期の墓址群 杉原莊介
展示品図録I	瀬戸内海歴史民俗資料館	ふるさとの自然と歴史34.35.36.37.38.39.40 歴史と自然をまもる会
奈良国立文化財研究所年報1973年印刷		福岡郷土文化叢書1元寇危言 筑紫豊
倉敷考古館研究年報第10号	倉敷考古館	筑紫本八幡大菩薩愚訓（複写） 筑紫豊
東吹上遺跡	群馬県立博物館	歴史手帖1974年12月号 筑紫豊
長崎県立美術博物館年報—昭和48年度—	長崎県立美術博物館	文永の役 700年 アジアの視野にたつ元寇史讀めぐり
長崎県立美術博物館研究紀要第2号 昭和48年度		福岡県歴史教育者協議会・日朝協会福岡支部・日本中國友好協会福岡支部・日本ベトナム友好協会福岡支部
日田金石年史上 下	長崎県立美術博物館	日本塙業の研究第10.11.12集 日本塙業研究会
石橋美術館 年報1974.6.18	日田市立博物館	浄空寺遺跡 東洋開発株式会社
野田シリーズVI 野田の板碑一附中世の野田一	石橋美術館	新建築 1974年10月臨時増刊 新建築社
大阪市立博物館74.6.13	野田市郷土博物館	紀伊風土記の丘年報第1号 和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所
大阪市立博物館研究紀要第6冊	大阪市立博物館	佐谷・龍田山古墳調査報告 福岡県教育委員会
北九州市立美術館	北九州市立美術館	津古内畠遺跡（遠隔撮影）
北九州市立美術館開館記念		福岡県小郡市津古所在遺跡の調査第5次 福岡県教育委員会
中華人民共和国漢唐壁画展		九州縱貫自動車道関係埋蔵文化財 調査報告—IV—（本文編） 福岡県教育委員会
北九州市立美術館		調査報告—IV—（図版編） 福岡県教育委員会
徳島県下出土のナイフ形石器・細石斧	徳島県博物館	九州縱貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告—V— 福岡県教育委員会
徳島県関係考古学文献目録		小郡市三沢所在遺跡群の調査 福岡県教育委員会
徳島県博物館紀要 第4集	徳島県博物館	大宰府の文化財 九州歴史資料館年報昭和47年度 九州歴史資料館年報昭和48年度 太宰府史跡—昭和48年度発掘調査概報— 九州歴史資料館
原始古代の徳島	徳島県博物館	太宰府史跡—第30.31.32次発掘調査概報— 九州歴史資料館
埼玉県立博物館年報 昭和48年度	埼玉県立博物館	朝倉廣庭宮跡伝承地第1次発掘調査報告 九州歴史資料館
資料館報4.5	埼玉県立さきたま資料館	九州の古瓦と寺院 九州歴史資料館
北海道所蔵公文書件名目録3	北海道総務部行政資料課	
博多駅地区区画整理誌	都市開発局博多駅区画整理部	
亀屋文庫のしおり 亀井南冥と一族の小伝	亀屋文庫	
筑紫史論（第2輯）	波多野晴三	
福岡県の歴史	三島格	
九州歴史関係年表	田中丸コレクション	
博多石園山笠史談	落石栄吉	
福岡大空襲	落石栄吉	

福岡市西方中原遺跡調査概報	福岡市教育委員会	久米市遺跡	山口県教育委員会
相原古墳群	福岡市教育委員会	山口県埋蔵文化財調査報告第28集	山口県教育委員会
福岡市埋蔵文化財調査報告書宝満尾遺跡第26集	福岡市教育委員会	主要遺跡遺構確認調査&1耳取古墳	山口県教育委員会
福岡市埋蔵文化財調査報告書多田遺跡第27集	福岡市教育委員会	山口県埋蔵文化財調査報告第29集	山口県教育委員会
福岡市埋蔵文化財調査報告書牛多田遺跡第29集	福岡市教育委員会	坂ノ上遺跡	山口県教育委員会
板付馬込遺跡調査報告書(I)	福岡市教育委員会	名古屋市博物館準備年報	名古屋市教育委員会
昭和48年度善導寺什宝調査目録(稿)	福岡市教育委員会	大原・宮櫛遺跡	下關村教育委員会
昭和48年度都神社什宝調査目録(稿)	福岡市教育委員会	東北新幹線関係遺跡調査報告—I	宮城県教育委員会
地産株式会社造成地内遺跡調査概要	福岡市教育委員会	第24次発掘調査現地説明会資料多賀城跡	宮城県多賀城跡
草場古墳群斜ヶ浦瓦窯址	福岡市教育委員会	高橋遺跡第5次調査略報	豊田市教育委員会
福岡市史第4巻~7巻	福岡市役所市史編さん室	豊田市埋蔵文化財調査集報第1集	豊田市教育委員会
又當解放教育の実践1,3,4	福岡市教育委員会	古墳I	豊田市教育委員会
朝倉町の論理と解放の思想	福岡市教育委員会	江岸湖苗代津遺跡	熊本県教育委員会
国宝宮地獄古墳出土品修理報告書	宮地獄神社	沈目・熊本県下益城郡城南町沈目遺跡の調査	熊本県教育委員会
朝倉町町史資料第5集医王山南林寺跡起	朝倉町教育委員会	熊本県文化財調査報告第11集	熊本県教育委員会
朝倉町町史資料第4集	朝倉町教育委員会	古文書等緊急調査報告	阿蘇文書
県営宮野地区農地開発事業地区遺跡調査報告書(Ⅲ)	朝倉町教育委員会	長崎県文化財調査報告書第17集	熊本県教育委員会
志免町文化財調査報告書第1集	志免町教育委員会	対馬一枝茅滴とその周辺の考古学調査	長崎県教育委員会
七夕池遺跡群発掘調査概報	志免町教育委員会	長崎県文化財調査報告書第18集	長崎県教育委員会
天神山貝塚	志摩町教育委員会	黒田原遺跡略報II	長崎県教育委員会
本川原遺跡	佐賀県教育委員会	四日市市埋蔵文化財調査報告9	四日市市教育委員会
久留米市文化財調査報告書第5集	久留米市山本町民家の調査	小杉大谷古窯址	四日市市教育委員会
久留米市教育委員会	久留米市文化財調査報告書第6集	九州所在中国・朝鮮の仏教美術遺品	四日市市教育委員会
久留米市教育委員会	久留米市文化財調査報告書第7集	特別展 岡山県の原始・古代	岡山県立博物館
久留米市文化財調査報告書第8集	久留米市教育委員会	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告(3)	岡山県立博物館
中根山古墳群	久留米市教育委員会	中國庭園自動車道建設に伴う発掘調査1	岡山県教育委員会
持丸古墳群	甘木市教育委員会	宮崎市文化財調査報告書第2集	宮崎市教育委員会
小田堀遺跡	甘木市教育委員会	松添貝塚	宮崎市教育委員会
大野城址の文化財(第6集新川特集号)	大野城市教育委員会	昭和48年度研究紀要(第2輯)	宮崎県総合博物館
山口県下松市宮原遺跡・上広石遺跡	山口県教育委員会	研究資料第6集	宮崎県総合博物館
幸崎古墳・松ヶ迫遺跡	山口県教育委員会	鹿島遺跡調査報告書	宮崎県総合博物館
柳井市と浦遺跡	山口県教育委員会	福岡県行橋市竹並所在遺跡の調査	宮崎県総合博物館
下関市神田遺跡	山口県教育委員会	概要1)竹並遺跡	竹並遺跡調査会
山口市吉田岡崎・吉田大浴・下長野遺跡	山口県教育委員会	火君と塚原古墳群展示	熊本日日新聞社塚原古墳群を守る会
山口市立道・五反地遺跡	山口県教育委員会	五戸町中沢西張遺跡	青森県教育委員会
山口市森埋蔵文化財調査報告書第19集	山口県教育委員会	県営浜田地区整備事業地内	県営浜田地区整備事業地内
右田・一丁目遺跡、的馬・宮の馬場遺跡、		埋蔵文化財発掘調査概報	埋蔵文化財発掘調査概報
			須賀川市教育委員会
		文化資料館資料目録	文化資料館資料目録
		古文書の部第1集	神奈川県立文化資料館
		琵琶湖岸湖底遺跡分布調査概要I	滋賀県教育委員会
		浜布市仙川遺跡	東京都教育委員会
		東京教育大文学部考古学研究報告Ⅳ	東京教育大文学部考古学研究報告Ⅳ
		長野県森将軍塚古墳	長野県森将軍塚古墳
		東京教育大文学部	東京教育大文学部

考古学論叢2	別府大考古学会	京都市埋蔵文化財年次報告1972年
埋蔵文化財発掘調査概報1974	京都府教育委員会	京都市文化観光局文化財保護課
尼崎市文化財調査報告第9集		尊勝寺跡発掘調査概報
尼崎市文化財調査資料集第2集		六勝寺研究会
尼崎市栗山・庄下川遺跡		探跡一編文後・晚期の埋葬遺跡—
尼崎市樹遺跡		
	尼崎市教育委員会	
京都市遺跡地図49年7月1日現在	京都市文化観光局文化財保護課	百人委員会
京都市遺跡地図台帳	京都市文化観光局文化財保護課	百人委員会
		日本の旅路13(ふるさと物語)北九州
		千趣会

福岡市立歴史資料館条例 (昭和47年10月23日)

(設置)

第1条 福岡市及びその周辺の歴史に関する資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市立歴史資料館(以下「資料館」という。)を福岡市中央区天神一丁目に設置する。

(事業)

第2条 資料館は、次の各号に掲げる事業を行なう。
 (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
 (2) 資料を市民に展示し、公開すること。
 (3) 資料の専門的調査研究を行なうこと。
 (4) 前各号に掲げるもののほか、資料館の設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 資料館に館長その他必要な職員を置く。

(観覧料)

第4条 資料館に展示した資料の観覧料は、徴収しない。

2 前項の規定にかかわらず、資料館に特別の展示をしたときは、教育委員会は、その実費相当額の範囲内において観覧料を徴収することができる。

(入館の制限)

第5条 教育委員会は、次のいずれかに該当する者に対し入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) 資料館の管理上必要な指示又は指導に従わないもの
- (2) 資料館の管理上支障があると認められるもの
- (3) 資料の貸出し

第6条 教育、学術若しくは文化に関する機関若し

くは団体又は学術研究のために特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行なうものとする。

(損害賠償)

第7条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者がその責に帰すべき理由により資料館の建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(協議会)

第8条 資料館に福岡市立歴史資料館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、資料館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に意見を述べるものとする。

3 協議会の委員の定数は、20人以内とし、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 学識経験者

4 前項の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、資料館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、昭和47年11月16日から施行する。

福岡市立歴史資料館条例施行規則

(昭和47年11月16日)
(教育委員会規則第14号)

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市立歴史資料館条例(昭和47年福岡市条例第74号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市立歴史資料館(以下「資料館」という。)の業務を行なうため、資料館に管理係を置く。

(職員)

第3条 資料館に館長、係長、吏員その他の職員を置く。

2 館長及び係長は吏員のうちから命ずる。

3 館長及び係長は、上司の命を受けて資料館又は係の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

4 吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する業務を処理する。

(職務権限の代行)

第4条 館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、

係長がその係に属する事務について館長の職務権限を代行して行なう。ただし、重要又は異例な事務については、社会教育部長の指揮を受けなければならない。

2 前項の規定により館長の職務権限を代理して行なう者がないときは、社会教育部長が行なう。

(開館時間)

第5条 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変

更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 毎週月曜日

(2) 12月28日から翌年1月3日まで

(入館者の心得)

第7条 資料館に入館する者は、次の事項を守らなければならない。

(1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し又は火気を使用しないこと。

(2) 駄音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(4) 職員が行なう管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出)

第8条 条例第6条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市立歴史資料館資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育長に提出しなければならない。

2 条例第6条第1項の規定による資料の貸出の許可は、資料貸出許可書(様式第2号)を交付して行なう。

(寄贈等)

第9条 資料館に資料を寄贈し又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出は、寄託者の承諾を得て行なうものとする。

(委任)

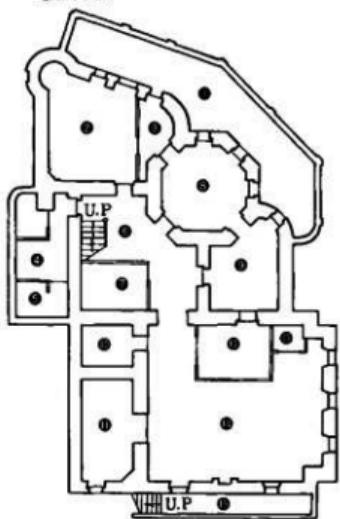
第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

○施設と規模

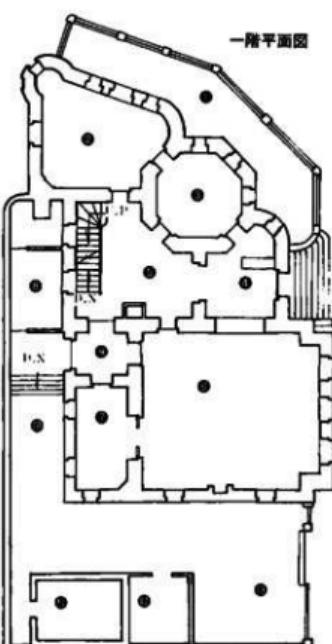
地階平面図



- 一階
- ① ドライエリア
 - ② 事務室
 - ③ 館長室
 - ④ 表玄関
 - ⑤ 階段室
 - ⑥ 展示室 1
 - ⑦ 展示室 2
 - ⑧ 計備員室
 - ⑨ 裏玄関
 - ⑩ 通路
 - ⑪ 便所
 - ⑫ 倉庫
 - ⑬ 車庫

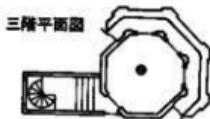
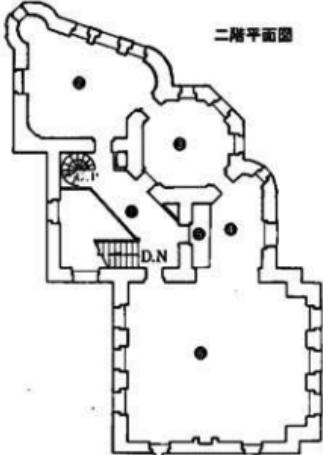
- 地階
- ① ドライエリア
 - ② 機械室
 - ③ 恒温恒湿空調室
 - ④ 热沸室
 - ⑤ 浴室
 - ⑥ 階段室ホール
 - ⑦ 機械室
 - ⑧ 収蔵庫
 - ⑨
 - ⑩ 暗室
 - ⑪ 消毒室
 - ⑫ 写場
 - ⑬ 空調室
 - ⑭ 作業室
 - ⑮ ドライエリア

一階平面図



○面積表

本館



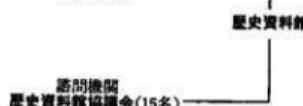
三階 ● 美術室

	室名	床面積
● 地階		218.8m ²
機械室	31.5	
収蔵庫	18.0	
収蔵庫	18.7	
階段室ホール	32.5	
作業室	78.3	
暗室・消毒室	22.5	
浴室、脱衣、湯沸、通路、物置	17.3	
● 1階		212.9m ²
事務室	31.5	
館長室	18.0	
玄関	18.7	
階段室	32.5	
裏玄関	6.8	
展示室1	78.3	
展示室2	15.7	
警備員室	11.4	
● 2階		171.6m ²
展示室3	31.7	
展示室4	19.2	
展示室5	19.5	
展示室6	67.9	
階段室	33.3	
● 3階		25.5m ²
展望室	16.5	
階段室	9.0	
付属舎		
● 1階		26.1m ²
倉庫	11.6	
便所	14.5	
● 2階		16.6m ²
資料室	16.6	

機 構 と 職 員 の 構 成

(1) 機 構

教育委員会 - 教育委員会事務局 - 社会教育部 - (主幹)
(教育次長)



(2) 職 員 構 成



館 員 名 簿

職 名	氏 名	摘 要
館 長	三 島 格	技術職員(文化財専門職)
管 理 係 長	石 橋 博	事務職員
事 務 主 任	橋 端 邦 彦	事務職員(経理庶務担当)
学 芸 主 任	下 條 信 行	技術職員(文化財専門職一学) 50. 3. 31付けで退任し、4. 1付け九州大学文 学部史学科(考古学講座)助手に就任
事 務 補 助 員	藤 村 早智子	臨時職員
学 芸 補 助 員	長 村 慶 子	臨時職員
警備員(昼間)	村 上 一	業務委託会社出向職員
機 械 設 備 運 転 保 守 技 術 員	西 村 功	"
受 付 員	川 上 富美子	"
受 付 員	古 賀 幸 子	"
警備員(夜間)	高 吉 政 等	"
警備員(夜間)	高 柳 晴 一	"
清 掃 員	嵐 澄 敏 子	"

FUKUOKA CITY MUSEUM

Year Book No. 3

福岡市立歴史資料館年報

No. 3

(昭和49年度)

昭和50年8月30日

発行

福岡市立歴史資料館

●入場料 無料

●休館日 月曜

12月28日～31日

1月1日～3日

●開館時間 午前9時～5時（入館4時30分）

●場所 福岡市中央区天神1丁目15番30号

TEL 741-5488

印刷

チコニツ